

味の素グループ 知的資本戦略の進化：無形資産が生み出す未来の価値



2023年度：無形資産の「定義と接続」

無形資産を「プレ財権資産」と位置付け、1,700名超の研究員や従業員の熱意を成長の原動力として定義した。



2024年度：4つの資産の「見える化」

無形資産を「人財・技術・顧客・組織」に分類。「Swing the Bat (挑戦する文化)」の醸成やDX基盤 (ADAMS) の整備を推進。



2025年度：資産を掛け合わせる「オーケストレーション」

各資産を強く結びつけ、三位一体の知財戦略やファンベースモデル「POND構想」を通じてイノベーションを加速させる。

4つの資本カテゴリにおける変革

技術資産

凜然とした「技術力」 → 戦略的知財へ IP Landscape

三位一体体制

IPランドスケープや特許戦略の可視化を導入し、卒業・R&D・総制が連携する「三位一体」体制へと具体化した。

顧客資産

製品販売 → ファンベースモデルへ

POND構想

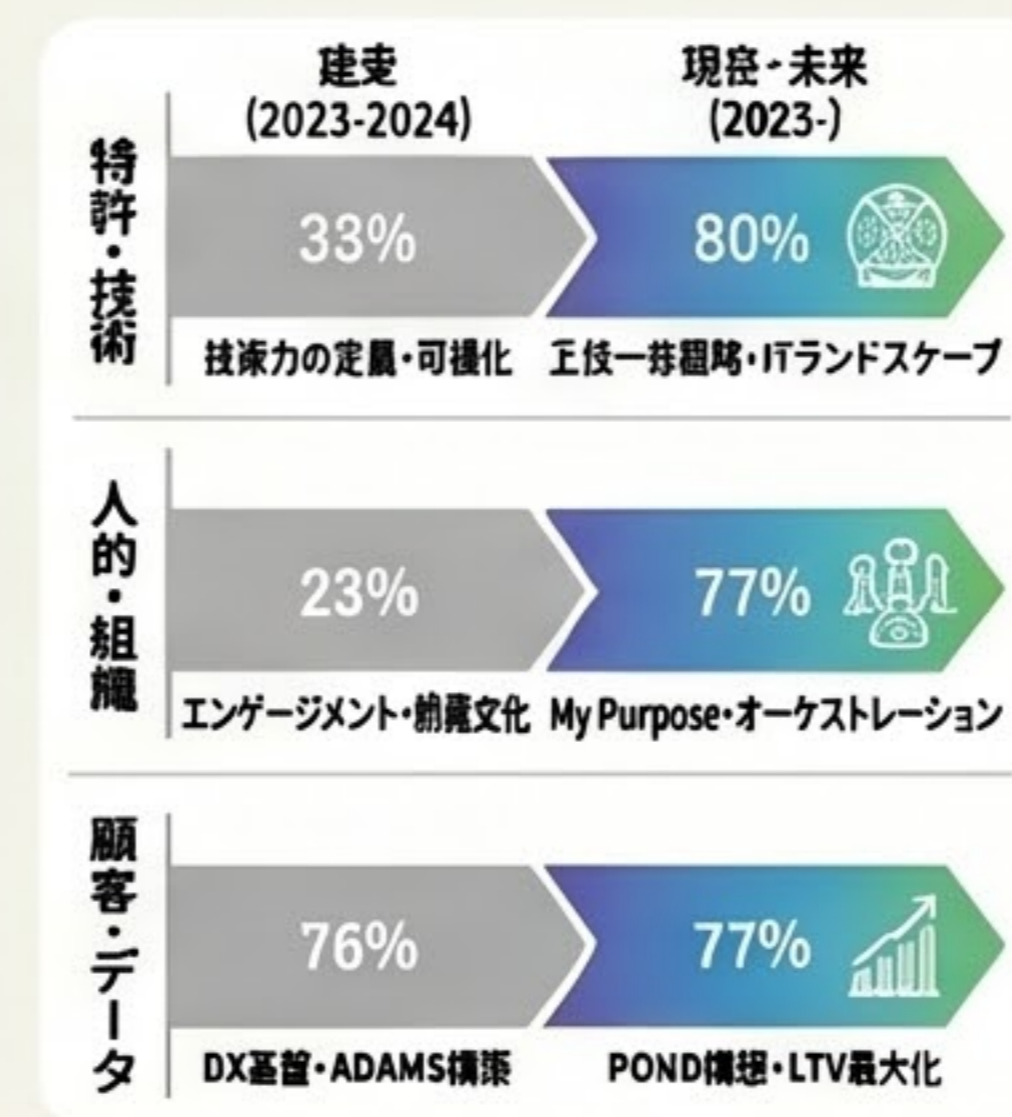
共通データ基盤を活用し、生活室と高値つながり「POND構築」によって顧客生涯価値 (LTV) の最大化を目指す。

組織・人財

定量目標 → 「内発的動機」のシステム化へ

My Purpose

個人の志と企業目標を貫く「My Purpose」や組織刷新活動を運び、自律的な挑戦を促す文化を醸成。



未来に向けた「伸びしろ」と「チャンス」

克服すべき4つの課題 (伸びしろ)

- 組織のサイロ化打破
- 意思決定のスピードアップ
- 販路モデルのグローバル展開
- 国内のDEBI構築

ポジティブインパクトの投資価値化

Aj/Pro-Lによる蓄積GHG削減

先進組織 ICT (半導体パッケージ)

Aj/Pro-Lによる蓄積GHG削減のように、操業長寿命稼働を前提に変わるインパクト主軸の経営を模索。先端医療やICT領域において、蓄積稼働システムと初経費用を組み合わせて、高い参入障壁を構築。